

NO. 21 「イベントの秋 2」

令和4年10月21日

10月もはや下旬、木々も色づき始め秋も深まってきました。
「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」と「色々な秋」がありますが、今回は10月16日（日）に西公民館で開催されました豊能科学工作教室、夢ラボ」20周年記念イベントをご紹介します。

豊能科学工作教室・20周年記念行事によせて頂く16日（日）早朝に、猪名川町にある実家の山に登ってきました。

奥山の風景①

朝日を受け、ススキの穂が気持ちよさそうに揺れていました



奥山の風景②

急な斜面を登っていくと色々なキノコが顔を見せてくれました



ムラサキアンズタケ



マツタケ

奥山の風景③

山頂付近には大きなマムシが山の番をしてくれていました



豊能科学工作教室、夢ラボ20周年記念イベント

10月16日(日) 14:00～

20周年記念・開会のセレモニーが終わり、みなさんお待ちかねの「おもしろ科学実験」が夢ラボのベテラン講師陣により始まりました。

おもしろ科学実験 ①「割れた風船から違う色の風船が飛び出した」

科学実験教室創始者の赤羽根先生の
科学マジックショー



おもしろ科学実験 ②「石をこすって火をつけよう」

佐久元校長先生のお手本どおりに火が付くかなあ？
水も用意され、挑戦者は軍手をはめて実験に臨みます。



おもしろ科学実験 ③ 「箱からドーナツの煙が飛び出した」

箱に詰めた煙が、箱の両側をたたくと、「うわあー！」
丸い穴からドーナツ型の煙になって飛び出しました。



おもしろ科学実験 ④ 「空気で、ろうそくの火を消すんだ」

「やってみたい人」 → 「ハーイ、私もやりたい！」



箱の両端をたたき、
箱の前の丸い穴からろ
うそくの火に空気を当
てて消すんです。子ど
も達全員が参加して、
ろうそくの火が消える
まで挑戦。大盛り上が
りでした。

保護者の方とたくさん子ども達が参加して、食い入るように実験を見てくれていました。実験や観察を通して「なぜ、そうなるの？」と疑問を持って考える、そんな体験や経験が大事ですね。

最後にスーパーボールと竹ひごを使って「飛び出すロケット」を作りました。会場には「鉱物標本」や「豊能町の蝶の標本」「これまでの実験講座を収録した100枚近くのCD」赤羽根先生が書かれた「楽しい科学マジック100選」等が並べられていました。



＜豊能科学工作教室20年の歴史＞※富永教育委員(夢ラボ副会長より)

- ・平成15年(2003年) 豊能みんな楽しく科学工作教室が光風台自治会館で小学1年生～お年寄りまでを対象にスタート
- ・平成19年(2007年) 西公民館に場所を移して年間16回実施
講師陣、内容も充実し生物や地学の分野も加わった光風台小の依頼を受け6年生に2つの実験講座実施
- ・平成21年(2009年) 月1回の科学工作教室の開催が定着(3～6年)
夏休みには、近畿圏を中心にバスで観察会を実施

- ・平成25年（2013年） 東ときわ台小からも依頼を受け実験講座を実施
実験枠は生物、化学、物理、地学に広がった
- ・平成27年（2015年） 国の教育支援補助事業を受ける。教育委員会からの
要請を受け町内4小学校の3～6年の実験講座を開設
- ・平成30年（2018年） 科学実験講座に名称を変え、4～6年対象に実施
現在に至る（コロナ禍のため今年度は5～6年対象）

これまで豊能町の子ども達にやっていただいた実験教室や観察会、その楽しさ、素晴らしさ、そして「なんで？」と感じたことは、大人になっても、きっと忘れないことと思います。本当に長い間お世話になり有難うございます。

来年度からは、豊能町の素晴らしさを15年間かけて学ぶ「とよの未来科」がスタートします。これからも色々な場で子ども達へのご指導、ご助言をお願いいたします。20周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。